

子どもはひとりの人として、愛されるために生まれた。

だから、考えよう。動こう。急ごう。



虐待ゼロへ

いのちに
ハグ"を。

とちぎ"

2020年に全国の児童相談所が虐待(*1)として対応した件数が20万件を超え過去最多(*2)となりました。栃木県においても2020年度、県内の児童相談所と市町の児童虐待の相談対応件数は、3,334件(*3)にのぼります。最多を更新した前年度からは176件減りましたが、コロナ禍で虐待は潜在化していることが懸念されます。下野新聞は、子どもたちが無条件で人と地域に愛される栃木県を目指し、賛同企業・団体のご協力のもと、新聞紙面を通じた呼びかけ、啓発イベントの実施など児童虐待ゼロに向けた活動を推進していきます。 *1 児童虐待は、身体的・性的・心理的虐待、ネグレクト(養育放棄・養育怠慢)の4つに分類されます *2 厚生労働省調べ *3 県保健福祉部 2021年7月発表

虐待ゼロとちぎへ。きょうから、いっしょに。